

理事長挨拶



社団法人 大正琴協会理事長 海部 俊 樹

新年明けましておめでとうございます。

会員、愛好者の皆様におかれましては、ご健勝にてそれぞれに夢、希望を抱いて新年をお迎えのことと存じます。

社団法人大正琴協会は平成5年に設立して以来干支2巡目に入っておりますが、毎年、都道府県持廻りで開催してきた全国生涯学習フェスティバルの参加事業や協会主催の定期演奏会の開催によって延出演者44,000人の協力と地域愛好者延42,000人のご来場や開催地元の関係機関の絶大なるご配慮ご支援によって広く生涯学習の普及活動を助長してきたところでありまして積年の大勢の方々のご尽力に対し、改めて感謝し、厚く御礼を申し上げます。

去年は「自然の叡智」「人生のわざと智恵」等をテーマとして新しい文化、文明の在り方について21世紀最初の愛・地球博が愛知県で開催され6ヶ月間にわたり世界の国々との交流を深めることも出来ました。期間中はセキュリティの面で厳しい対応策が図られ、融通の効かない窮屈な思いをする場面もありましたが、予想をはるかに超えた2,200万人の集客力であったにもかかわらず、憂慮されていた事故、事件を見ることもなく、平穏かつ、大盛況で推移したことは運営に対する事前の取組み姿勢等に大いに学ぶべき教訓が秘められていたことは否定できません。しかし、残念なことに万博開催のエリア外では、動機不明な罪のない子供達を狙う事件の頻発をはじめ、テロの続発、台風、津波、地震等自然災害の多発で脅やかされた一年でもありました。

少なくとも自己中心で無責任、無謀な行動や、異常と正常の見境いのつかない行為等は或る程度、家庭の躰がしっかりしておれば防止できることではないでしょうか。家族のコミュニケーションにはじまり、家庭内の平和、そして社会、世界の平和こそ今回の愛・地球博から得た無言の教師であったように思えてなりません。

大正琴音楽の音色、音を楽しみながら平和な家庭づくりに専念できるよう、各位のご健康をご祈念申しあげて新年のご挨拶に代えさせていただきます。

第26回通常総会議事録

1. 日 時 平成17年12月7日（水）
開会 午後1時00分
閉会 午後2時00分

2. 場 所 東京都港区南青山四丁目17番58号
ホテルフロラシオン青山

3. 出席状況 会員の総数 4,564名
出席会員数 4,215名（委任状含む）

4. 議事の概要

(1) 開会

定刻に、司会者の企画委員長平野芳男常務理事が挨拶。

総務委員長岩間昌一常務理事が、開会を宣言。

(2) 理事長及び理事竹山裕氏挨拶。

理事長海部俊樹氏及び理事竹山裕氏がそれぞれ挨拶。

(3) 議長選出

司会者が、議長選出方法を議場に諮ったところ司会者一任の声あり。よって、副理事長北林豊氏を本総会の議長としたい旨諮ったところ、全員一致をもって選出し、同氏は、これを了承し議長となり、挨拶をした。議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長は、正会員現在数の4分の3以上の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。

(4) 議事録署名人選出

議長が、議事に先立ち議事録署名人2名の選出について諮ったところ、議長一任の発言があり、全員異議なく賛成したので、議長は、理事加藤英也氏及び同今泉和久氏を指名し、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

被選任者らは、いずれもこれを承諾した。

5. 議 事

第1号議案 平成17年度

収支予算執行状況報告に関する件

議長が、病気のため本総会を欠席の事務局長笹倉辰行氏に代わり事務局横澤美樹氏に本件議案の説明を求めた。

横澤美樹氏は、予め配布した資料をもとに収支予算執行状況（平成17年4月1日から同年9月30日まで）について詳しく報告した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、本件を了した。

第2号議案 平成17年度

収支補正予算案承認に関する件

議長が、事務局横澤美樹氏に本件議案の説明を求めた。

横澤美樹氏は、予め配付した資料をもとに平成17年度収支補正予算案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

第3号議案 理事2名選任に関する件

議長が、組織委員長奈須忠信常務理事に本件議案の説明を求めた。奈須忠信氏は、当協会の理事を2名選任する必要がある旨を説明し、下記の理事候補者を発表した。議長は、下記の者をそれぞれ指名し、これらの者についてその可否を議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認可決した。なお、被選任者横幕睦氏は、その就任を承諾した。

理事 東京都世田谷区上馬
宮川 泰
同 静岡県浜松市萩丘
横幕 睦

第4号議案 平成18年度

事業計画案承認に関する件

議長が、事業委員長吉崎裕幸常務理事に本件議案の説明を求めた。吉崎裕幸氏は、予め配布した資料をもとに平成18年度事業計画案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

第5号議案 平成18年度

収支予算案承認に関する件

議長が、事務局横澤美樹氏に本件議案の説明を求めた。横澤美樹氏は予め配布した資料をもとに平成18年度収支予算案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

6. 閉会

以上をもって、社団法人大正琴協会第26回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、総務委員長岩間昌一常務理事が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。

平成17年12月7日
社団法人大正琴協会 通常総会

議 長 _____ 印

議事録署名人 _____ 印

同 _____ 印

平成18年度事業計画(主要事業)

1. 生涯学習に関する普及・啓発活動

- (1) 第18回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会
 - ・日 時 平成18年10月6日(金)、10月7日(土)の2日間を希望しています。(未定)
 - ・場 所 茨城県東茨城郡大洗町 大洗文化センターを希望しています。(未定)
 - ・趣 旨 大正琴を通して生涯学習に対する意欲を高めるとともに、人々の学習活動への参加を促進するために開催します。
- (2) 体験学習・見本市への参加
 - ・日 時 平成18年10月5日(木)～同年10月9日(月・祝)の5日間
 - ・場 所 笠松運動公園
 - ・趣 旨 大正琴を通して生涯学習の普及・振興を図るため、より多くの人々をフェスティバル会場への来場を呼びかけるとともに、大正琴の演奏技法を体験していただき、より豊かな自己を造りだす切っ掛けを提供し、生涯学習への参加を呼びかける。

2. 生涯学習に関する各種講座・講習会等の開催

- (1) 協会主催の講演会を開催します。
- (2) 地域における各種講座・講演会の開催、生涯学習機会の提供等への援助
(地方事業助成)

3. 演奏会、指導者研修会

- (1) 第18回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会(茨城県)
- (2) 第15回大正琴定期演奏会
(奈良県奈良市 なら100年会館 平成19年2月10日(土)～2月11日(日)の2日間)
- (3) 地域における大正琴演奏会への援助
- (4) 指導者研修会の開催

4. 調査研究事業

- (1) 参加しやすい大正琴
- (2) 生涯学習に関する実践のあり方
- (3) 世代別の愛好曲の傾向

5. 出版物の刊行

- (1) 機関誌「協会だより」No.27、No.28
- (2) パンフレット「協会案内」
- (3) ホームページの開設

平成18年度収支予算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日

〔収入の部〕

(1) 基本財産運用収入	15,000円
(2) 会費・入会金収入	16,742,000円
(3) 事業収入	
①生涯学習フェスティバル出場料	5,400,000円
②大正琴定期演奏会 出場料	13,600,000円
入場料	2,500,000円
事業収入計	21,150,000円
(4) 補助金収入	0円
(5) 雑収入	500,000円
(6) 出版物収入	0円
当期収入合計	38,757,000円
前期繰越収支差額	9,930,948円
収入合計	48,687,948円

〔支出の部〕

(1) 事業費	25,799,000円
(2) 管理費	15,693,000円
(3) 予備費	0円
当期支出合計	41,492,000円
当期収支差額	-2,735,000円
次期繰越収支差額	7,195,948円

第17回全国生涯学習フェスティバル(鳥取県) 見本市・大正琴合同演奏会終了報告書

去る平成17年10月13日(木)に鳥取県倉吉市の「倉吉未来中心大ホール」において『第17回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会』が盛大に開催されました。

会場となった倉吉未来中心大ホールは鳥取県の中央に位置し、大山を背景とした豊かな自然や温泉地、文化遺産など多くの資源に恵まれた場所に建設されました。当初は、生涯学習フェスティバルのメイン会場がある鳥取市から西へ約50kmほど離れた位置なので、今回の合同演奏会に参加される会員が減少するのではないかと懸念されましたが、予想を反しまして1,600名を越える多くの方々をご参加いただき、過去最高の出場者数で演奏会を開催しました。

当日は一般来場者席も満席になり、各流会派の出演者の方々も日頃の練習の成果を発揮されました。

来場者はもちろんのこと出演者の皆さんも喜んでいただけた演奏会となりましたことを、心より感謝申し上げます。

今後、全国生涯学習フェスティバルが各地方都市にて開催される折には、地元会員をはじめ皆様のご協力をお願い申し上げますとともに、各流会派実行委員会の皆様のご苦勞に感謝申し上げ、『第17回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会』の終了報告を致します。

第17回全国生涯学習フェスティバル実行委員会
実行委員長 鈴木 萬司



講演会抄録

第26回通常総会終了後、下記の講演会を開催致しました。

期 日：平成17年12月7日（水）14時25分～15時40分

会 場：ホテルフロラシオン青山「芙蓉」
東京都港区南青山四丁目17番58号

講 師：さかなクン
お魚イラストレーター、環境省「環のくらし応援団」メンバー
JF全漁連 魚食普及委員、千葉県立安房博物館客員研究員 他

演 題：「魚でキレイ 魚で健康」

受 講 者：110名

講演要旨：さかなクンが書いたイラストを見ながら、いろんな魚のすばらしさ、魚の生態系や海の環境についてご講演いただきました。また、魚の鳴き声が琴の音に似ていることから名付けられた「ことひき」という魚も紹介していただきました。

(1) さかなクンと魚との出会い

小学2年生の時に漁師さんを通して、名前の通り横から見ると長い顔、正面からみると愛くるしい表情のウマズラハギ（フグ目／カワハギ科）に出会い、魚についてどんどん興味を持つようになり、現在も魚の勉強を続けています。

(2) 魚の栄養素

脂質、タンパク質、カルシウム、鉄、DHA、EPA、IPA等多くの栄養素が含まれています。特に、DHAは「頭が良くなる栄養素」として知られています。

DHA（ドコサヘキサエン酸）

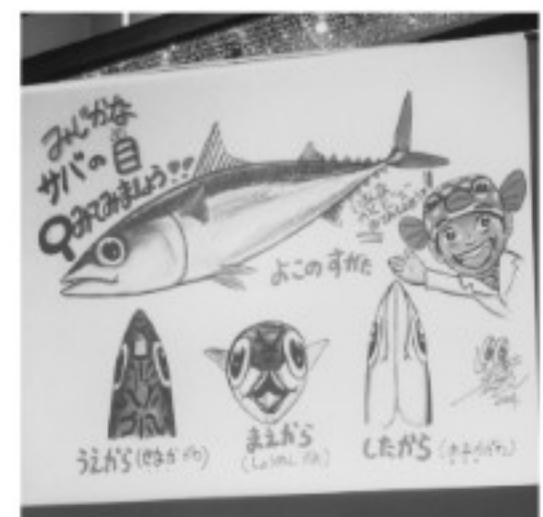
- ①脳細胞を活発化させ、記憶力や学習能力を向上させる。
- ②悪いコレステロールを減らす働きがある。

(3) 海の環境

魚は海中の生き物のバランスにより生息しています。地球温暖化、人間の生活排水や陸地の過度な開発は、海の生態系を壊しかねません。人間は環境に大きな影響を与える力をもっています。自然の大切さについてもう一度考えなければならない時期にきているように思います。

【ご講演いただいて】

今回の講演を通して、特徴を捕えた可愛いイラスト、質問型式による受講者参加型の講演、大変楽しく魚について学ぶことができました。そしてさかなクンのポジティブさ、漲るパワーには感動致しました。また、マスコミや書籍、講演を通して特に子供達に対して魚の普及活動に励んでいらっしゃるとお伺いしました。私どもも大正琴音楽を通して、失われかけている古き良き日本の心を思い起こさせ、心の輪、人の輪そして心の豊かさを広めてゆきたいと思えます。



トピック

公演舞台でゲスト出演

- 期 日：平成18年2月6日（月）～3月10日（金）全48回出演
会 場：名鉄ホール 名古屋市中村区名駅一丁目2-1
主 催：名鉄ホール・テレビ愛知
協 力：大須商店街連盟、社団法人大正琴協会、ヤマハ（株）他
演 目：「大須純情音楽隊」
キ ャ ス ト：森口博子、中村メイコ、酒井和歌子、太川陽介、近藤洋介
穂積隆信、逢坂じゅん他。（ゲストとして各12回ずつ出演）
ものがたり： 豊かな山裾に包まれた穏やかな町の唯一の診療所で院長を務めている医師（森口博子）は、健康なのに毎日診療所に集まってくるお年寄りたちを心配し、「生きがいを見つけてほしい」とアマチュア楽団「大須純情音楽隊」を結成する。方方から集めた楽器でそれぞれ練習を始めるが、初めの演奏会は大失敗。これで懲りたと思いきや、他方で奏でる大正琴音楽の演奏に刺激され「ネバーキプアップ!」。お年寄りたちは密かに集まり練習を再開し、医師や楽団を応援してくれるみんなのために頑張るのである。
お問い合わせ：加盟団体（琴修会、琴城流、琴生流、琴伝流）

会員たより

届きますように!!

小春日和の日だまりで、母が新聞を読んでいます。たしか八年程前のあの朝もこんな光景で始まりました。折込み広告を見ていた母が「大正琴の『無料体験講座』だって、やってみたいな。付き合ってくれない?」——

こうして私は、大正琴と出合いました。体験講座の後、早々にリタイヤした母を見て、この話はこれで終わったものと思っていました。

数ヶ月後『家元のミニミニコンサートへのお誘い』という電話がありました。「入会する気はないんだから顔を出すのは止めようよ。」と言う私に、「ンニヤ、家元さんの演奏ってのを聞いてみたい!連れて行ってよ!」と頑固に言い張る母。孝行娘(?)の私は、この時も母と一緒に出かける事になりました。

家元の演奏は時に悲しく、時に切なく時に美しく、私の心に染み込むように入ってきました。『ええっ!?大正琴って、こんなに素敵なの!私も習ってみたい——。』

そこからは、『どつぼにはまってドッピンシャ!(茶つぼだっけ?)』への道を、まっしぐらに歩く事になりました。

この八年間で、一番心に残っている事は、国立劇場の舞台に立てた事です。愛知県芸術文化選奨を受賞した、琴生流のオリジナル作品『あほろく』の演奏会です。国の伝統芸能と認められたものしか上演する事ができないと言われる、あの国立劇場に!

私は、新規に『あほろく』のメンバーに加えてもらったので、できるだけ先輩達の足を引っぱらないよう、1年間、一生懸命練習を重ねました。時には、腕や肩が痛くなっても何のソノ——そして、国立劇場の舞台での一時間余り、物語も終盤になり、『嵐の夜、村人達に、川が氾濫するのを命がけで太鼓を叩いて知らせていた『あほろく』が、ついに濁流に呑み込まれて流されてしまう!』大正琴の音と共に激しく打ち響いていた和太鼓の音も消えて、ライトのトーンが落ちた時『ああ、まだ終わりたくない…』と心の中でつぶやいていました。

国立劇場での演奏会は、琴生流の大きな1ページだったと思います。私にとっても、1年半経った今も、ついこの間の様な鮮やかな出来事であり、また、そう遠くない私の、老後のとっておきの茶飲み話として、大切に胸の奥にしまっておきたい、思い出の1ページになっています。

大正琴の楽しさが、もっともっとたくさんの方の心に届きますように!

琴生流 菊八重会
河原 鈴江



(社)大正琴協会主要事業予定

☆第14回大正琴定期演奏会

- 日 時 平成18年2月11日(土)～2月12日(日)
- 会 場 神奈川県民ホール
横浜市中区山下町3-1 TEL 045-633-3720

☆平成17年度指導者研修会(中央事業)

- 日 時 平成18年3月8日(水) 13時30分～
- 会 場 ウェルシティ金沢「芙蓉」
石川県金沢市石引4-17-1 TEL 076-222-0011

☆第27回通常総会及び表彰式

- 日 時 平成18年5月31日(水)
- 会 場 名古屋ガーデンパレス「栄」
名古屋市中区錦三丁目11番13号 TEL 052-957-1022

☆第18回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会

- 日 時 平成18年10月6日(金)～10月7日(土) 希望(未定)
- 会 場 大洗文化センター(茨城県東茨城郡大洗町) 希望(未定)

☆第15回大正琴定期演奏会

- 日 時 平成19年2月10日(土)～2月11日(日)
- 会 場 なら100年会館
奈良市三条宮前町7-1 TEL 0742-34-1000

編集後記

昨年は充実した1年を過ごされた方もあれば、自己中心的な一部の不逞な輩による女、子供への暴行、殺人事件、弱者目当てのひったくり、人命を軽視した無気味な事件の頻発などで不穏な空気がただよった1年でもあったように感じました。

海外でも、津波、大型ハリケーン、大地震など天災の怖さ、大規模テロの続発など傷ついた地球を連想させる年でもありました。

自然災害は別としても、社会や家庭、家族の歪みから発生することの多い人為災害は家族の対話不足から引き起こす例が多いだけに、社会の「核」となる家庭から見直すべきことを痛感しました。幼、小、中学生の義務教育は学校のみでなく、子育て、躾や、大切な道徳心は家庭での親から授ける義務であることに目覚めさせた好機であったと思いました。

勇猛で従順、忠実で人によく馴染み、子育て上手な戌年に因み、今年こそ騒動のない佳い年でありたいと願いつつしたためます。